

第1回 協創ミーティング 開催報告

日時：2026年7月4日（土）10:00～12:00

会場：東寺方複合施設 第一会議室

2月に開催されたエリア・協創合同ミーティングでは、地域で取り組んでみたいことについて、5つのアイデアが提案されました。第1回協創ミーティングでは、アイデアのいくつかを実現していくために、いつどこで何ができるかを絞り込みました。会場は30名を越える熱気に包まれ、既存地域活動団体からは、小学校世話人会会長がお越しくださいました。

本題に入る前に、会場全員での自己紹介の時間が設けられました。得意なことや、地域でやってみたいこと、人生目標などを一言ずつお話いただきました。ゼミ学生からも、水泳、クラシックバレエ、塾講師、イタリアン料理、作曲、格闘技、ドラム、ギターなど様々な得意ごとがでてきました。

次に、2月の5つのアイデアについて当日当時の発案者及びファシリテーションを務めたゼミ学生より詳細概要説明がなされました。5つのアイデアは、「コミュニケーションと地域資源」、「デジタル社会と地域の交流」、「音楽とメイクアップで楽しみを」、「人も地域も健康に」、「多世代交流を通じた地域での学び」です。これらの概要説明に基づき、会場を10グループに分割して、どのようなことができそうかディスカッションして、全体発表の場で共有し、前半が終了しました。

後半に入り、前半で話し合われた内容から、限られた時間内での論点整理と絞り込みを行いました。前半では、「タグラグビー」「清掃活動」「音楽とメイクアップ」「地域通貨」というキーワードが頻出しました。いずれのイベントも、地域の

拠点形成されていなければ広報が必要との議論になりました。

広報については、秋祭りなどのイベント時にPRすると効果的という実践例や、既存地域活動団体である世話人会による情報発信や、自治会の回覧板や掲示板のご協力による方法などが紹介されました。

また、開催場所については、小学校の放課後子ども教室、公園、その他の公的施設・設備の活用などが提案され、イベントの種類などによって使い分けていくと良いといった意見も出てきました。ふらっと立ち寄れる場の重要さが改めて共有されました。さらに、1つに固めるのではなく、段階的に小さな単位からはじめていき、徐々に拡張展開していくという実現可能性を鑑みた斬新なアイデアも示されました。

終了時間も迫りつつある中、実現に向けたテーマの絞り込みに入りました。既存施設・設備を使った文化祭のような開催とすれば、あらゆるイベントが気軽に楽しめるといった発想や、こまめに小さいイベントを開催することで小回りがきくといった考え方もありました。会場では、双方の利点を活かし、相互に行き来するのもありなのではないかと結論づけられました。

最後に、東寺方小学区での寺小屋プロジェクトを本格的に立ち上げた参加者より、イベント開催日の確定は大事ですとのコメントがあり、10月末日で仮決定となりました。これより、場所の確保に入り、公園での「タグラグビー」×「清掃活動」×「かまどベンチでの焚き火とバーベキュー」×「ハロウィン仮装」「地域通貨」といった検討に入ることとなりました。

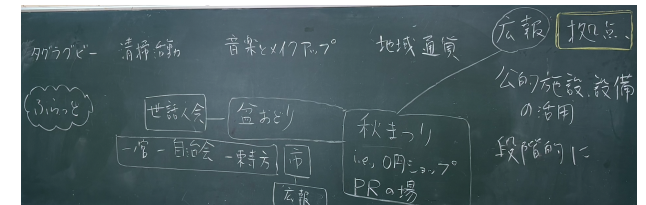
この日の開催に向けて、情報交換の場が必要となりますが、開催日が決定した時点で、市よりオンラインアプリツールの登録先を本日の全参加者に配信いただき、綿密な調整のもと、皆で納得のできるイベントになればと願うとともに、ゼミでは中間支援組織の一つとして必要なサポートをしていきたいと存じます。

会場の建物では、偶然お目にかかった前自治会長さんにゼミメンバーでご挨拶できる機会もございました。今後も、既存地域活動団体の皆様とのつながり発展にもゼミ一同で取り組んでまいります。

（ゼミ研究室）



第1回協創ミーティングの様子



アイデアのまとめ